

裁判長
認印

事件番号

平成四年わ第八六号等

(合議)

第二回公判調書 (手続)

被告事件

傷害

廣野秀樹 出頭

(出頭別)

被告人

準強姦

公判をした
年月日

平成四年六月二十九日

検察官

江村正之

公判をした
裁判所

金沢地方裁判所第三部

出頭した

裁判長裁判官

三宅俊一郎

岡田進

裁判官

川口泰司

弁護人

裁判官

山田徹

廣野巳代子

裁判所書記官

稲葉武司

証人

出頭した

裁判所

証拠調べ等

証拠等関係カード記載のとおり

検察官の意見

本日付け論告要旨記載のとおり

弁護人の意見

- 一 本件公訴事実について、被告人はすべて認めており、これを争うものはありません。

二 情状について

本件犯行は自首事犯であり、犯行態様についても被告人の一時の感情の昂りによって、被害者に暴行を振るって想像以上の被害を与えたことは被告人自身も認めています。

被告人には前科がなく、本件犯行について、被告人は深く反省をし、被害弁償についても、本件で罪の償いをしたあと一生かかっても被害者に被害弁償についても、本件で罪の償いをしたあと一生かかっても被害者に被害

害弁償をしていきたいとこの法廷で誓っているので寛大な判決を願います。

被告人の最終陳述

やったことはでかいと思いますが以前の経過に関しては、被害者に私が
つきまとったように言われましても、そんなつもりはありません。

単なる人間関係でお互いに首がしまっていたものだと思います。誰も
私に味方する人はいませんし、私を厳罰に処罰して下さい。

指定告知した次回期日（判決宣告）

平成四年八月三日午後一時三〇分

平成四年七月二二日

金沢地方裁判所第三部

裁判所書記官

稲葉武司

